

ネパールと日本 似ている言葉 (ビシュワ カルマチャリア)

わっしょい わっしょい

Hostey! 「Hastey!」

皆様は「わっしょい！わっしょい！」という言葉をご存知ですか？

この言葉は、日本のお祭りでおみこしを かつぐ 時に 皆で力を合わせてかける掛け声です。私は初めてこの掛けを聞いたとき、とてもおどろきました。なぜなら、ネパールのお祭りの掛け声の「hostey hastey」ととてもよく似ているからです。

ネパールと日本、遠く離れた国ですが、お祭りの掛け声はとてもよく似ていると思いませんか？ネパールでは、なくなってしまったお祭りもありますが、今も行われているお祭りもたくさんあります。

私の一番好きなお祭りは「インドラ・ジャトラ」について皆さんにご紹介したいと思います。

このお祭りは紀元4世紀ごろに始まったと言われる伝統的なお祭りです。

「インドラ・ジャトラ」の「インドラ」と言うのはヒンズーの雨の神様の名前で、「ジャトラ」と言うのはネパール語でお祭りという意味です。日本語で直せば「雨神様のお祭り」なります。雨期の終わりの9月頃に1週間かけて カトマンズで行われます。

このお祭りにはあるいい伝えがあって、ネパール国内や海外からも大勢の人たちが見物にやってきます。そして世界中の人たちが一緒になって楽しめます。むかしむかしのある日のこと、天にいた神様のインドラ様は母親に頼まれ、天からお花（パリザト という 花）を採りにカトマンズに降りて来た。しかし、に住む人間達が花泥棒として捕まってしまう。困ったインドラ様はそこで許してもらかわりに人間に 豊作を約束して解放され、天国へ帰してもらったというものです。

このお祭りは、カトマンズのドルバル広場で 巨大な柱を立てている所から、始まります。

そして、柱の根元に、捕まったインドラ神様の像が縛りつけられています。

お祭りの3日間は生き神様クマリやマハカリ様やバイラブ様（ヒンズーの神様）を乗せた3つの山車がカトマンズの町をまわります。プルキシ、マハカリ、バイラブなどの神様の踊りも披露されま

す。

プルキシは竹で作られた白い象です(ガネーシャ様です)。この中にはお酒をたくさん飲んでとても酔っている2人が二人が竹で作られた神様の中に入り、道を歩きます。まっすぐに歩くことができず、おもしろい踊りに見えます。

バイラブ様のお面をつけたものを震わせながら神様が乗った状態で登場します。

この神様たちの踊りがとても面白いので、大勢の人々が見に来ます。

また、王宮広場にあるバイラブ寺院はこの期間だけ御開帳があり、バイラブ様の口からお神酒が出され大勢の人々に振舞われます。

最終日には、神様を天国へ帰す行事を行います。白い服を着た人々がインドラ様の面をつけた人の後を付いて行きます。

亡くなった家族に会いに、インドラ様と一緒に天国へ行くためだと言われています。その天国から帰って来て、自分の家へ戻ります。

インドラ様をお送りした後、初日に立てられた柱が倒されます。この柱のてっぺんに置かれたフルーツに金が入っており、柱が倒されると、皆でにぎやかにその金の取りあいが始まります。そこでこのお祭りが喧嘩のお祭りと言われていています。最後にその柱が、川に流され、お祭りが終了します。

このお祭りはカトマンズだけしか行われず、また、生き神様クマリを間近で見られるのは「インドラ・ジャトラ」のみです。家族や友達とだけでなく、ネパール国内や海外からの大勢の人たちと一緒に楽しむことができます。

私はネパール、そして地元カトマンズで行われるこのお祭りが大好きです。

皆様も是非、「インドラ・ジャトラ」を見にネパールにおこしてください。

一緒に、わっしょい、わっしょい、と楽しみましょう！

わっしょい！わっしょい！

Hostey! 「Hastey!」